

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各会派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	5人	330分
公明党	5人	210分
市民連合	2人	150分
日本共産党	2人	150分
誠友会	3人	150分
新政クラブ	1人	70分
無所属	2人	各30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



五阿彌寛之
水曜会
(60分)

無人航空機ドローンの活用は

問 大規模災害時の情報収集や広域的な被災状況の把握に向けて、有効な手段となるドローンを活用しては。

答 ドローンは、災害現場で人が立ち入れないような危険な場所の状況確認や搜索活動などに活用

されている。

本市は現在5つの事業者と協定を結び、広範囲な大規模災害時にはエリアごとに役割を分担し被害状況の把握を行うことになっている。

今後、リアルタイムでの映像送信が可能なドローンの導入や搜索活動、物資輸送など一層の活用を検討していく。

なお、本市もドローン1機を保有しており、現在は工事の進捗管理業務などに使用している。



高田健司
水曜会
(60分)

持続可能な地域コミュニティの形成に向けて

問 自治会、町内会等を中心に在り方を検討し、今年度はその取り組みを実施するが、地域コミュニティの再構築に向けた具体的な課題認識等は。

答 有識者会議の取りまとめでは、本市は全国的に見ても先進的

な地域づくりが地域住民により主体的に展開されている一方、課題として、役員の多忙化や同じ地域での類似組織の混在、現役世代の参画が難しいこと等による担い手不足等が挙げられている。

今年度は、まちづくり推進委員会や自治会等の地域運営組織の再構築や活動のスリム化、見直しに取組むモデル事業を市内の2学区で行い、行政から地域への依頼事項の見直しや地域と行政の役割分担の整理をする中で、地域づくりに意欲の持てる社会の実現に向け取り組む。



連石武則
水曜会
(70分)

外国人人材の受け入れは

問 我が国の外国人労働者数が過去最高を更新した。本市の現状と受け入れ環境づくりは。

答 昨年10月末現在のハローワーク福山管内の外国人労働者は5402人で、製造業へ3299人が従事し全体の61・1%を占め次いで卸・小売業が10・1%、建

設業が9・4%となっている。

本市では外国人市民に関する課題等を把握し施策に反映するため多文化共生のための地域連携懇話会を設置し、技能実習生の受け入れ企業、支援団体、学区自治会連合会等と意見交換を行っている。

受け入れ環境づくりでは、日本語教室や出前講座を行っており、引き続き支援団体等と連携し生活面の支援に取り組む。また、外国人が日本で円滑に就労するためには送り出し機関との連携も重要であり、今後連携の在り方についても研究していく。

* 6月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。